

幼 兒 教 育

第 二 十 三 卷 第 一 號



日 本 幼 稚 園 協 會

目次

表紙繪(リヒター)

卷頭

幼兒教育の急務	乘杉嘉壽
都市の發達に伴ふ兒童問題	池田宏
子供は如何なる本を讀むのを好むか	今澤慈海
低能兒教育に就いて	三宅鏞一
動作遊戯「ビヨシ太郎の運動會」	坂内ミツ
幼稚園のゲーム	土川五郎
大阪保育會の感想	關西一會員
リヒターについて	倉橋惣三
英國の保育學校	倉橋惣三
萬國幼稚園協會案幼稚園要目	倉橋惣三
雜纂	

共益商社書店新刊

水谷式夫先生著
幼兒オペラ

雀の御宿 兎と狸

第一編

定價金八拾錢

送料 八 錢

純然たるこどもさんのオペラです幼稚園小學校の御子さんにも容易にできるかはいいい本書を是非御用意下さい

水谷式夫先生著

幼兒オペラ 第二編

(グリム原作)七ツの小山羊 兵隊遊び

定價金八拾錢

送料 八 錢

第一編の名作たるは既に社會の認る處本編は世界周知の名著「グリム」作のお伽噺に題をとりし名曲と最も新しき行進遊戯を載せたり

水谷式夫先生著

略譜より本譜へ

定價金六拾錢

送料 六 錢

略譜はやさしい本譜は「六ヶ敷い」とお仰せになる方は本書を御覽なさい略譜と本譜が比較してあります故一讀判然

福井直秋先生著

ヘルプスト單唱歌

定價金六拾五錢

送料 六 錢

著者が自信ある作曲の發表です此頃自稱作曲家がものした駄本と御比較下さい如何に本書の内容が充實せるかを

井上武士先生編

二部合唱曲集

定價金九拾錢

送料 八 錢

井上武士先生が容易に歌はれる様に苦心して編纂せられしものです四六倍判歌曲二十有五曲皆有名の傑作曲集です

水谷式夫先生著

對話唱歌 第十三編寶槌 第十四編花あらしひ

定價金參拾五錢

送料 四 錢 宛

いよ／＼第拾四編迄刊行いたしました本編は料を能狂言にとり其の爛熟せる内容は益々好評に全國に波及す

松島彝作曲

童謠 か め

定價金參拾錢

送料 貳 錢

學習院の先生で女流作曲家の白眉である著者の會心の作です歌はおなじみの法月歌客先生の作みるからに美しい本

出版目錄進呈

東京芝本區

共益商社書店

振替

東京一五八〇

新 作 樂 譜

歌 人 形

□ 幀 裝 る な 雅 優 麗 美 判 大 倍 二 六 四 □
 □ 錢 拾 金 冊 各 料 送 錢 拾 五 金 冊 各 價 定 □

望あのたと度通こ謠の抒 する無こののののの情 ぬ斯いこのののの先驅的 たう現美このののの者 方うし代ののののと 々たじののののの 々至樂ののののの 々純壇ののののの てな形はののののの お歌を見うる玉ほ 薦永い球る玉ほ する間玉ほ 者渴でひ	加藤まささを先生詩 梁田貞先生曲 蝶の夢 穂 1 たんぽぽ 2 ザボン 3 椰子の果 家鴨の喙 4 花束 さくらんぼ 近刊 近刊 既刊 既刊
--	--

六四一一一京東替振 區橋本日市京東
 五三三一花浪話電 圖鶴老田内 目丁二町馬傳大

幼 兒 教 育

第 三 十 二 卷 第 一 號

一 點 の 嚴 肅 味

子どもは遊ぶ。われ等は子どもと共に遊ぶ。しかし、おとなの遊びに子どもを使つてはならない。

子どもは自由だ。われ等は子どもに自由を與へてやり度い。しかし、子どもに如何なる生活をさせるかには、おのづから限度がある。みたるべからざる規がある。子どもは自由だが、子どもの相手をするものには、守るべきところがなくてはならぬ。

子どもの相手に消極は禁物だ。神經質の苦勞性のあふなりでは、思ひ切つた子どもの相手は出来るものではない。全般的态度として、積極と、大膽と、或る長閑さとは、子どもを大きく育てる上に極めて必要のことだ。しかし、積極と冒険と、大膽と粗漫と、長閑さと呑氣とは、似て而して違ふ。子どもの相手といふ、大にして微、微にして大なることに於て、殊に、似て而して甚だ違ふ。子どもの相手に缺くことの出来ないものは、積極、大膽、長閑さと共に、細心と、深慮と、慎重とだ。

子どもの相手は楽しいことだ。愉快なことだ。しかし、氣樂なことではない。況して、浮かしくしたことでない。子どもといつしよに笑ひながら、ふざけながら、おとけながらも、自分自ら、戒め慎みてみだるところのない一點の嚴肅味、それのないものには子どもは托せられない。(倉橋生)

我國幼兒教育の急務

(家庭教育尊重)

文部省社會教育課長 乘 杉 嘉 壽

幼兒の保護、教育の問題が、甚だ重要な事と考へらるゝ様に成て來た事は、誠に喜ぶべき事である。

即ち「子供の世紀」とさへ云はれて、近來は、教育の出發點を此處に求めんとする傾向が、一般教育者にも、亦家庭に於ても氣付いて來た事は頗る當然な事ではあるが、此處へ來るまでには、相應の深い原因があるのである。殊に歐洲大戰をへたる歐羅巴の各國に於ては、其の失はれた多數の少壯の國民の補充、又多年に亙る戰時中に生れたる子供の素質の良くない事と、更に戰爭より受けた、一般經濟界の打撃よりして子供の教育の上に、大なる缺陷を生ずるに至つた、と云ふような、現實の必要にせまらるゝ事が、其の最も主なるものと云はねばならぬ。

彼等、歐洲の國民に於て斯様な勝利の急務として、此問題を考慮し盡力して居る間に、——我國に於ては、以上の如き現實の必要にせまられたわけではな

いが、元來我が國の兒童の養育に對する徹底と云ふ事が、彼の國のそれに比して、甚だしき懸隔を見る實狀にあるからして、彼等が其大なる缺陷を補ふ事に努力して居る間に、——我等が其の舊態を改めずして、一日を忽にしたならば、數年ならずして、彼等は其缺陷を恢復した上に又更に大なる進歩を遂げて、此處に更に大なる懸隔を生せねばならぬ狀況の下にある事を我等は自覺せねばならぬ。

成る程我國の、家庭に於ては、子を愛する事は、我が大和民族の傳統的の一大特長で、親の子に對する愛情、從て子の親に對する愛情の深い事は、他のどの國も其の右に出るものは無いと思はれる。老た者の、幼き者に對する態度は、愛が中心である。愛の中心であると云ふ事は、自然の理である。西洋の先哲が、教育の根本を説くに、愛の教育を以てしたと云ふ事は、むしろ我々にとつては新しい考とも思

はれぬ。當然のことである。

教育は、愛によつて出發しなければならぬと云ふ事は、蓋し古今東西を通じての眞理であらふ。

我國の人が、子供を愛すると云ふ事に於ては、此の教育の根本に對して、誤らざる考を持ち又其の實行をなして來たと云ひ得るのであるが、さりながら、我が國の習慣としての、子供を愛すると云ふ心狀は、自然界の現象として見らるゝ、一般動物の、其の子を愛すると云ふ場合と、何等異てゐない愛情の發露と見ても差支ないまでに、盲目的のものであつた。

子供を養育する場合には、子供を愛する、と云ふ事が第一要件だが、其の愛は徹頭徹尾合理的なものでなくてはならない。古の諺に云ふ「ひいきのひきだほし」と同じ事で、子供を眞に愛するならば、其の愛が理性に依て導かるゝ事が頗る大切な事である。

然るに、此の點に於ては、遺憾ながら我が國の人達は、所謂盲目の愛に溺れて正しき、且つ、雄々しき子供を作る事には、甚だ不得手であつた。其の證據には現代世界に國をなすものゝ中で、文明國と呼ばれ又強國と數へらるゝ中で、我が國位ひ生れた子供を其の幼年の間になくす國は殆ど無いのである。

即ち當歲の子供で見れば、千人に就いて二百六七十人の子供は必ず死亡して行くのである。五歳までの幼児に就て云へば、千人に就いて三百六七十人の者は必ず死んでしまふ。嬰兒竝に幼児の死亡率の高い國は我が國以外には、ハンガリー、チリー竝にロシアあるのみで、其の他の列強國に於ては、かくの如き子供の死亡率の高い國は、一つもない。子供の多く死ぬと云ふ事は、生れた子の素質の悪い事も一つの原因ではあらふが、又他の一つの原因は、子供を育てると云ふ事を知らないこと云ふ事であらふ。

子供を愛する事の中で、子供の生命を維持する事は、第一の條件でなければならぬ。その生命を維持する點に於て、既に我が國は落第者中の筆頭にあるわけで、更に、其の子を強くすると云ふ事が第二の條件でなければならぬ、しかるに此の點に於ても、日本の國民が、其の體質、體力、並びに體格に於て歐米列國の國民の其れにくらべて、甚だ劣つたものである事は否みがかい事實である。これ亦養育の方法に、大なる缺陷のある事を證明するもので、唯我が國民族の天稟の然らしむるものであると自暴自棄すべきではない。人爲的に改良し、改善して優種

の民族とすべき筈である。が、體格に就ては我が國のみにあらず一般に漸次劣て行ても善くなると云ふ事の確信は得難い。我が國丈の状況で見ても、成る程新しき教育で、兒童生徒の身長は増した、さりながら、胸圍と體重は之に伴はずして昔の人の強健さに比べて、一般にかよわい者が出来て來ると云ふ傾向が看取される、殊に近代盛となつた都會生活の増大につれて、所謂ヒヨロナガキ者が殖えて、外國に於ける都會生活に於ても通じて見る事の出来る弊害は我が國民の中に遺憾なく之を見る事が出来る様になつた。

物質的、肉體的に何等の進歩をみる事が出来ないばかりでなく、子供を育てる上に、彼等の精神的方面に對しても、正しき、雄々しき人を作る事に、甚だ進歩した社會教育が、時代に相應はしく計畫せられ、實施されて居ないと云ふ事も亦事實であつて、我が國の未だ他國と交りを結ばざる時代、即ち封建時代の家庭教育と、今日の家庭教育とを比較してみればむしろ今日は大いに遅緩した状態が看取される。

教育の出發點は、家庭であつて、家庭が教育の道

場であると云ふ觀念は、昔の人に比してむしろ稀薄に、成た感がある。それは、一面學校教育が進んだ爲に、子供の教育は學校の責任で、家庭は子供の衣食を供する位に考へる人が甚だ多く成たものではなからうか。

成る程、學校は分業的に子供の教育の或方面を分擔して、五十年百年前の一般國民の教育よりも、よほど進んだ働きを爲てゐるであらう。さりながら教育は、かくの如き學校教育のみで完成はされない。否、完成されぬばかりでなく家庭が無力で、學校教育が盛な處では、利口なる動物は出来るが、決して利口な人間は出来ない。

教育は、家庭が第一で、家庭の教育的意義を失た場合に於ては、殆ど其の効果を擧げるのは不能であつて、若し左様な場合には之を補ふ丈の有力な學校教育が無くては、教育の成果を見る事は絶対に不能である。然るに我が國の現状は、一般に學校教育の大切な事は知るに至つたけれども、顧て子供に家庭のより大切である事に氣付く者が甚だ少ない。之が教育の進歩して現代國民の見識なり、實行なりに、種々の缺陷を見る一大原因であつて、教育には「家

「庭第一」の標語を掲げて大に國民の覺醒を叫ばねばならない。

先にも述べた様に、子供を育てる事を知らぬ親ばかりでなく、子供を躱ける事を知らない親が最も多いのが我が國の現状である。かつて余が米國のシカゴ公園に散歩してゐた際に、若い夫婦が五六歳の男児をつれて同じく公園に散歩に来てゐた。すると、一つの東家に先着した此の兩親の後を追て來た其の子供は、あまり急いだ爲に、歩道でない芝地を横切つて東家に登らんとした、之を見た母親は無言のまままで子供を突きのけた、父は子供に向て聲をはげまして正しき道を歩けの一言を放たのであつた。子供は、從順に云はれた通りにまはり道をして兩親の居る處に來て、嬉々として何事をか物語る有様を見て、余は深く感動したのであつた。群衆の場所で秩序を重んじ又個人としても正しき行を敢て爲る事に、強き信念と實行力を有してゐる彼等の素養は、かくの如き家庭の教育の力に依るものである事に氣がついた、否、斯くの如き家庭の教養は、日々の躱げばかりでなく家庭精神の中心をなすそれの深き信仰に依て、幼き者を導びき育くむ事が、やがて彼等の

光輝ある國、品位ある社會を造り出すのであつて、日々の躱に、ものうく感ずる親、自分自らの信仰なき兩親にはぐまられたる現代の我が國子弟達は、甚だ同情すべきものがあるのである。否、寒心に堪へぬものがある云はなければならぬ。

余は、教育の甚だ重大で、世に所謂生産的な事業が少なくないが、一人前の人間を造り上げるほど重要な生産事業は外には無いと信ずる。一人前の人間を造り上げると云ふ事は、教育の力であつて、其の教育では、「家庭第一」の標語を必要とする。

我が國の家庭が、今少し教育的の意義を持ち、能力を増す事を焦眉中の急務であると信ずるのであつて此の點に於て我が國民傳統的の「子供を愛す」その真情が、更に理性に依て導かれ、眞の人間の愛情の結晶である様にさるゝ事を、切望してやまないのである。(文責在記者)

都市の發達に伴ふ兒童問題の一として

東京市助役 池田宏

親として膝下で専心其の子の養育にのみ當り得ない事情があつたり、生れ乍らにして我親の溫情に浴する事の出来ない者があることは誠に人生の不幸である。斯の如き場合に肉親に代つて哺育し、保護する事は世の務めである事は申す迄もない。殊に兩親をして安心して思ふ存分に日々の仕事に没頭し得る様にする爲めには其子女を預つて哺乳、保育をする機關の在る事は誠に望ましい事で、獨り工場に通ふ労働者に限らず、生存競争の益々はげしくなる現代の都市生活に於ては必ずや公私種々の方面からの施設に俟たねばならぬことである。

凡そ都市に於ける兒童福祉事業としては種々の方面に互つて施設しなければならぬ事が數限りなくあるが其眼目とする所はいふまでもなく要するに兒童の心身の健全なる發達を圖るに在るもので、中にも大都市生活に在つては特に保健の方面からあらゆる施設をして行くことが必要である。社會事業として

兒童預所を設けたり、兒童保護委員を設けたりする事は勿論大に仕なければならぬが、都市の發達に伴れて、半人生の保護問題として、半労働問題として益々重要な地位に置かるゝ兒童問題は一の大きな社會問題として都市計畫の方面からも解決しなければならぬことを忘れてはならない。

都市が愈々大きくなるにつれて社會的兒童問題の一として、現代の急務とするのは、兒童遊園地の設備を完成することである。理想を云へば各自の家に、充分に新鮮な空氣を供給することの出来る日あたりのよい自由な空地の附屬する事を望むのであるが、人家稠密の避くべからざる都市に於ては家屋そのものにさへ充分の土地を得る事の困難から中々そんな事は望み難い實狀に在る。止むを得ず建築は階段的に高さを増し、たとへ少しの空地はあつても明るい光線や晴れやかな空をあふぐ事は出来なくなり遂にはその様な空地すら見出し得ぬほどになつて來るの

が都市の常である。此の結果は都市の住民と農村の住民との間に於ける衛生統計の上であり、と顯はれて、前者の平均壽命は後者の夫れに較べて、非常な差を生じ、遂に都市は農民の墓場といふやうな、呪咀の聲ともなり、現にどこの國でも都市の壯丁は農村の夫れに比して非常に多數の不合格を出す様にもなり、彼の結核病の如き恐ろしき病をして都會病といふ別名さへ持たしむる様になるのである。

試に我東京で最近施行した調査に表はれた處を見ると全市に於ける現住人口の平均死亡率は百人中二人二分であつた。大正八年に於ける市内細民地區即最密住を極むる地區十數町約二十萬人の平均死亡率は百人中二人五分に近く、全市の平均死亡率一人七分五厘に下つた大正十年でも右密住地區の夫れは二人二分に達してある。又該密住地區に於ける死亡率は當歲兒に於て百人中二十人餘に當り（全市の平均は十六人弱）四十歳以後には著しい差を見ないが働き盛りの四十歳迄はどの年齢階級に於ても密住地區の死亡率は常に全市の平均よりも高位にあるを示して居る。之を見ても密住生活の如何に恐るべきかよく判かる次第で、此の密住生活の害を最少限度に

止めしむることは社會的兒童保護の上に重要な意義を有する事を知るのである。

我が國では主として經濟力の關係からまだ幸に米國に見る様に突飛に高い摩天閣は見るに至らないが、其代りにはどこの市街地にも殆ど餘地のない背中合せの家屋がギツシリと建てこんだ有様は却て物凄に様に思はれる。抑々この密住家屋なるものは右に述べた如くに住民の生命と健康との爲めに容易ならぬ結果を齎らすことに考へて見ると之に備ふる事の焦眉の急務たるを深く感ずる次第である。然るに隣りの家根で我家にさすべき日光の影が妨げられたり、向側の屋根が高すぎる爲めに此方側の縁側にあたるべき日光をさへぎつたりする事は都市生活に於て常住見る所の現象で、必ずしも細民地區に限らない。

加之都市に在りては種々の人爲的發達の爲に寸地も餘す所なきまでに建て込められるので勢ひ其の住民は爽かな空氣と晴れやかな日の光との自由な自然から離れなければならなくなるもので之が密住生活をして保健上惡結果を齎らさしむる主要の原因と云はねばならぬから、斯くなることは何としても捨て

置く事は出来ない。尤も此の様な事のない様に近頃市街地建築物法の發布もあつて第一に道路の幅と家の高さとをきめた爲めに向ひ合て居る家はお互に日光を奪はぬ様に我家の屋根は向ひの縁と略々四十五度の角度を保つように建てねばならぬ事になつた。又表家と裏家との間にも兩隣同志の間にも同じ様に互に侵し合はぬ様に配慮される様にはなつたが、都市の土地は高價である爲めに建築物法の規定が守られることが殆ど關の山で、中々銘々の家族が庭を有つといふ様なことは出来ない。殊に土地經濟の方面から見ると都市の境域内には平家建や二階建など許りにして置くことは非常に不利な立場になる爲に、勢ひ丸の内に見る事務所の様な高層造りの洋風な共同住宅の如きものが出来る様になるのは歐米に見る所で、我國にも此の傾がある。

然るに共同住宅は一個の建築であつて同時に共同の町の様なものである、建築物法の關係から中庭として自ら相應な空地を設ける様になり、夫れが此の建物に住む家族の共同の庭として用ゐられるので、之に庭園的設備を施したりして居るのがよくある。

此の中庭は、建築に圍まれて道路とは絶対に無交渉

の土地である爲めに、めまぐるしい交通機關におびやかさるゝ事もなく子供の遊び場としては最も適した處であるに違ひない。

して見ると建築の新型式を何等かの方法で奨励することは社會的兒童保護の一解決方法の様にも見ゆるが、元來この様な建築は決して望ましいものではない。避け得らるゝ限りは避け度いのである。唯都市としては如何に金を掛けても種々の都市設備を施さねば都市生活を維持することが出来なくなるが其の設備費は幾世帯かで持ち合つて始めてこれを築造することも出来れば維持することも出来るようになる關係から止むを得ず出来るものである。

市民の住宅としては比較的土地經濟の爲めに左右されない郊外高燥開豁の地に充分な裏庭の餘地を有して建てられた獨立家屋を得ることは子女の幸福の爲めに理想であることはいふ迄もないが夫れには交通機關の設備を完成して譬へば「ベルジック」に最發達した實例を見るが如くに郊外と都市との間に於ける鐵道及軌道の連絡の便を充分にし、田園生活を樂しみつゝ都市の職業に従事することが出来るようにならなければならぬ。英國に於ける田園都市の如き

は此の如きは此の意義から社會的兒童保護の有力なる一解決方法として促進されねばならぬものであると思ふ。現に田園都市に於ける住民の死亡率が非常に低く千人中五人乃至十人の範圍に在り、其の兒童の健康及身體の發育頗る良好にして小學生でも中學生位の體格を備ふるに至つておる様な英國の實績を見るに特に此の感を深くするのである。我國では田園都市といふと中流以上の住宅地の様に考へられて居るが、之は大きな間違で、企業主等に依つて勞働者の爲めにも田園都市的住宅の經營を見るに至らん事は兒童の爲め余の切に希望に堪えぬ處である。

然るに悲しい哉土地經濟等から縛られて止むを得ず必ずしも歓迎す可らざる共同住宅の類が實施せられる様になることは洵に都市生活の爲めに憂ふべき事の限りである。それに共同住宅の中庭と云ても五階からもある建築になると一構への内に可成多數の家族が收容せらるゝ事になるので全家族の兒童の爲めの遊び場としては充分と云ふ事は出来なくなる。

其の補充となるものはいふ迄もなく小公園や運動場や兒童遊園地の類である。我國では市街地にも神社佛閣の類ありて是等に代はるといふては語弊はあ

るが、兎に角神聖なる自由空地の到る處に散在しておる事は甚だ欣ぶべき事で町内同志は須らく可成此の境域の維持に努めなければならぬ事とは思ふが、それは姑らく別問題としても、可成近い處に小公園や遊園地の類が設けらるゝ必要があると思ふ。

獨逸などでは七八町も歩かずに此の種の設備に近づき得る程にしなければならぬことになつておる。

一般に廣場と呼ばれて主な四辻にあるのは夫れである。廣場は一方には、ばげしい交通の調節の爲めに設備することもあれば又一方には避難の爲めにすることもあるが兒童の爲めには屈竟の遊び場と爲ておる。中には時間によつて市場の用に供せらるゝものもあるが開市時間がすむと自由の遊び場の役をするのである。勿論兒童専用の爲めにするものでなければ、子供の爲めの運動具などの設備もなく單に芝を植えるとか、草花をあしらふ位のものであつても、日光の充分にさす自由な空地は都市生活者に對しては此の上ない慰藉であり、其肺臟の様な働きをする事に考へて見ると廣場ほど適切な設備はあるまいと思ふ。ベルリン其他獨逸の都市では此の普及がよく出来て居る。ロンドンの様に、大地主の多い處では

——十四五人の地主でロンドン全市を所有してゐる——地主が私有地を公園なり遊園地として公衆の爲めに開放してゐるが、是等は誠にゆかしく感ぜられる。倫敦の公園はアルフレッド大王時代の治績に依り爾來著しく發達を遂ぐるに至り密住生活から蒙つた弊害や大火災に逢た苦い經驗からして、市の計畫を俟たずに地主達各自の自重心から設けられたものが多いが自然の大遊園に至つては實に羨ましい。舊來英國人は非常な運動家で、國としても殆ど軍備費に次いで運動費を費やしてゐる程であるが地主の開放してゐる土地はヒース (heath) と呼ばれて日曜なり土曜の午後などは子供と共に成人までこの廣い山あり谷ある(東京で云へば戸山が原の様なもの)遊園地で存分に種々の運動を試みて清遊する有様は洵に目覺ましく、英人の健全なる身心は多く此の境に養成せられると云ふも過言でないと思ふ。

我國でも夙に藝州の淺野侯が其の邸園を市民に公開したり、横濱の富豪原氏及岡野氏が其の邸園なり所有に係る自然の大公園を同じく市民の爲めに公開したり又東京の岩崎氏が其の庭園の一部に特に設備した兒童遊園地を市民に公開したり、近くは故安田

翁が其の庭園を市に寄附したりして市民の保健殊に、兒童の爲めに盡して呉れておる事は英國に見ると同じ型で、洵に結構の機運といふべく、此の様な實例が段々に出て來て大に兒童保護事業の基礎が築き上げられる様にしたと思ふ。佛國に於ても都市の經營計畫は古くルイ十四世の時代からナポレオン時代へかけて非常に盛であつた、かのホスマンが巴里の市長であつた頃に、ナポレオン三世が大ナポレオンの立案に従て實施した巴里改造計畫といふのがあるが、其の主眼とする處はブルバールとアベニューとを通じ莊大なるブラスを造る事にあつた。是も畢竟するに市民の子弟に自由な空地を興へるに在たものである。現今では公園のリーグを造ると云ふ計畫が都市計畫の一要綱と爲てゐるが、ホッスマンの計畫したブルバールとブラスは即ち組織的に公園と公園との聯絡をはかつたもので、彼の有名なるシャンゼリゼーの大通りには左右に鬱蒼たる植樹帯を配してボア(自然の森林公園)とブラスとを聯繫して自らリーグの組織をなして居る。公園としての計畫が誠に間然する所なく、殊に子女が嬉々として樂しむでおる事は羨ましい程であるが、之に附隨した

道路までが公園的に經營せられて居る事は味ふべき事と思ふ。我國では動もすれば公園を以てブルジョアの爲めにする閑事業だ位に考へておる人が知識階級に澤山あることは噴飯に堪えない。然るに大公園的設備は別としても小公園の類は現在の様に市の仕事にするよりもむしろ——都市にはそれ以外にも多くの事業が經營せられなければならないから——一町内が自分達の子共達の爲めに其の環境其の土地柄に應じて實施する方が適切であると思ふ。

現に淺草藏前の兒童遊園地などはそれへの第一歩で町内の有志諸君が主となつて持合ひで費用を市に寄附し、市は之に幾分かの費用を足して造つたものであるが町會の諸君は自治的に之が管理維持の實際に任じ設備なども有志の寄附で完成するに努力し誠によく子女の爲めに熱心に經營せられてゐる。何事によらず經營者と利用者とが密接の關係に在つて朝夕お互に知り合つた町内の者が自分の町、自分の子供、自分の子供の友達と云ふ様にごく親しみの近い者の爲に手近い處で計畫も管理も實行もする方が却て良結果を得安い事と思ふから今後は益々此の方面に進んで行き度いと思つておるが、一町で負擔に堪へない時

には四五町の聯合するのもよいと思ふ。

近郊を合せると東京市現在の人口は三百三十六萬であるが今まで通りの増加の割合で行くと大正二十五年には五百萬を超え殆どニューヨークと同じ位になるはずである。すれば密住生活を妨ぐ爲の都市問題からしてもかよい兒童の保護問題からしても、かの英のヒースや獨のグラス等に代るべき兒童遊園地なり小公園なりが少なくも十町毎に一つ位の割合で全市に配置される事を希望する。(文責在記者)

いざ子供走り

ありかむ玉霞。

ばせな

子供は如何なる書物を好むか

(Hubert u. Coryell コーネル氏實驗の紹介)

東京市日比谷圖書館長 今 澤 慈 海

子供に讀みものを與ふる時に、甲が適當だとか乙が不適當だとか云ふ事は勿論、其子の年齢なり、個性なりに應じて一應は、成人が選擇して渡すべきであるが、扱一度選擇して與へた以上は、どこは讀んでもいい、がどこはあまり良くないとまで、立入て干渉しない方がよいと思ふ。これはよい、と一度選んで與へたなら其中の何處を讀まうと子供の自由にまかすべきであると思ふ、それにつき、熱心なる兒童研究者、米國のコーネル氏 (Hubert u. Coryell) の説を左に紹介する。之により何等か諸君の參考に資する所あらば幸である。

過去十年間、殊に最近の五年間の經驗によつて、私は、兒童に彼等が讀んだ幾つかの書物に就て感想を語らしめ、その書物の一々の價値を批評させると、彼等の意見批評は全體として餘程正確なものであることを知つた。小供等は立派に單に暇潰しの讀み物と眞に價値ある讀み物との識別が出来る。大人のやうな偏見がないので或場合には大人以上の批評が出来る。

又、大人が小供に『この書物は有益だからせひお讀みなさい』と云つて薦めても、小供は仲々聞き容れないものである。と云ふのは今まで大人が小供に與へる書物と云へば、大抵『古い乾燥無味な讀み物』——“Dry old stuff”——に定つてゐたから、それで小供は大人の云ふことにも早や耳をかきなくなつたのである。それに反して子供が同年輩の子供から『此の書物は面白いよ、讀んでごらん』と云はれると非常に讀書慾を刺戟するものである。

そこで私は、吾々が不用意に兒童の讀み物を選択することを止めて、小供等自身に書物の批評をさせ、彼等が好きな書物を選択させるとすればどうであらうかと考へた。實際彼等の批評なり選擇なりはそれほど間違つてゐないのである。又一つの書物を子供等に讀ませる時に、『ビル、これを讀んでご覧。トムやチックやジムが非常に面白いと云つてゐるから』

と云つて薦めると必ず効果がある。

茲で私が子供等の意見は全體として大人の意見とどこまでも一致すると云へば、或は反對者があるかも知れない。がこれは議論ではなく、私の多年の周到な経験と觀察によつて確め得た明白な事實である。それで今私はその経験と觀察の経路をざつと述べやうと思ふのである。

私は少年の時、自分の先生を文學などのさつぱり分らない人だと思つたことを記憶する。先生は「イバアンジェリン」「イーノックアーデン」「ロージャー・デ・カヴァリー・ペーバーズ」の如き自分等には謂はゞ古くて徹の生えたやうな、且つ砂を噛むやうな面白味のないものばかり讀ませたことを憶えてゐる。その時私は、自分が若し先生になれば、「Jungle Books,」「Swiss Family Robinson,」「The Last of the Mohicans」の如きもつと面白いものを生徒に讀ませてやらうと思つた。其の後私が教師になつてから、この少年時のことを追想して、これらの書物を生徒に薦めた。が驚いたには、生徒はこれ等の書物を全く興味を感じない様子であつた。のみならず或生徒の如きは「The Last of the Mohicans」の如きは嫌

ひですと云つた。

其後、或日一人の生徒が、教室に、「With the Indians in the Rockies」を云ふ私の未だ聞いたことのない書物を持つて来て、大變面白いから級の者に讀ませてくれと云つた。その少年はその書物を差し上げて皆の者に示した。私はそれが Houghton Mifflin 會社の出版であるのを見て、それほど無價値な書物ではないと思つてやゝ安心した。級の者皆が讀んで大變面白いと云つた。黒人の大人と白人の少年とがロッキーマン山中で餓と寒氣とに戦ひながら一と冬過すと云ふ物語である。成程描寫も生々としてゐる、少年の興味をそゝる處がある。兎に角價、値ある作品である。

これは數年前のことであるが、その時、私は面白い書物が見付かつたものだと思つた。と同時に私はもつと大きい事實を發見した。それは子供等は同年輩の仲間が薦めた書物によく好んで讀み、教師の薦める書物にはほとんど頑固と思はれる程反感を有つてゐると云ふことである。それで私はもう教師として子供等に讀むべき書物を指摘して薦めることを止めて、彼等に自發的に好きな書物を選択させよう

思つた。そして明らかに小供の讀むべからずと思ふ書物は避けさせる方針をとつて、其他は努めて放任的に、小供等は實際どんな書物を好み、又どれだけ多く讀書するものか傍觀してゐた。

私の文學に對する考は此の時から變つて來た。教科書を選ぶにも、先づ生徒の意見を聞き、彼等どんな書物を好むか、又その好む理由などを語らしめた。又最も好きな書物を投票させたりした。

上級生(十二歳から十五歳まで)には、書物は主として家庭で讀ましめ、教室ではたゞ讀んだ書物の批評をやらせ、感想を作らせ、又面白い一章を朗讀させたりすることにした。

そこで書物をざつと三種類に分けた。

第一種 必ず小供の讀むべき書物、

第二種 一讀の價值ある書物、

第三種 全然暇つぶしの書物、

このうち第一種、第二種には何如なる書物を選ぶべきか、その性質條件は如何などに關して色々討論したが、結局投票によつてそれを決めることにした。

次に私は人が少年期に於てどれだけの書物を讀むかを知らうと思つた。調査の結果大凡そ二百冊から

四百冊までとすることが出來た。今現に市場に出てる少年書類は數千部ある。そのうちから二百乃至四百冊を選ばねばならない。それで常識によつて、先づ第一種の書物、即最も良い書物を選ぶことにし、次に第二種の書物、即一讀の價值ある書物を選ぶことにし、最後に無聊に苦しむ時、娛樂を求める時の讀み物として第三種の書物を選ぶことにした。謂ふまでもなくこれは教室に於て生徒と共にやつたことである。その間努めて私は自分の意見を述べること避けて、小供の意見に従ふことにした。

そのうち一人の生徒が第一種に屬する書物の目録を作らうではないかと云ひ出した。そこで銘々が自分に選んだ書物をアルファベット順にカードに記入することにした。かくして第一種の目録を銘々が作つてゐる間に、も一人の少年が、第二種の目録も作らうではないかと云ひ出した。最後に冒險談の非常に好きな少年が第三種の目録も作らうではないかと云ひ出した。それで結局、皆が銘々自分に今までに讀んだすべての書物を此の三種に分類して、書名、著者名、發行所の名等を記入することにした。そして皆の目録を一つに纏めて三種の讀み物の目録を作

らうとした。

又私は小供に選んだ書物に就ての短い内容説明、又何故それを第一種或は第二種或は第三種に選んだかの簡短な理由も記入させた。

私は、子供に彼の判断によつて書物を識別させ分類させ、分類の理由を述べさせることは、書物に對する小供の鑑賞力を發達させる上に、教師の千萬言の説明以上に有效であることを知つた。吾々は無價値な讀み物を斥けたのではない。が分類に於て、無價値と云ふ符牒を貼ることは、小供の趣味性を一層高める結果となつたのである。小供等が彼等仲間で作つたよい讀み物の目錄を持つてゐる時、彼等自らくだらない讀み物は顧みなくなるのである。

屢々自分の判断に迷ふ子供が私に意見を聞くことがあつた。その機會に眞の文學の鑑賞法を説いて聽かさうかと云ふ念が私の胸に動いた。がなるべくそれを制へて、若し不止得、自分の意見を述べるとしても、それは極軽く一寸暗示を與へる程度に留めた。例へば、『"Lorna Doone"』と云ふ書物は面白いですが『と一人の生徒に問はれたとき、

『さう。私は面白いと思ふが小供たちにはどうか

ね？お前たちには少し古いかも知れないよ』と云ふ調子であつた。これを聞いてゐた一人の非常に殺伐な活劇的讀み物を好む子供が手を舉げて

『否え、古くはないです。私はそれが好きです』と云つた。

『敘述が少しぐどいではないか』と私は云つた。

『さうです。しかし面白い處があります』とその少年は答へた。これを聽いてゐた他の三人の少年も頷いて同意を示した。その時一人の生徒が手を舉げて、『餘り冗漫です』と云つた。と他の少年がそれを反駁して

『君はどこまでその本を讀んだかね？』と訊いた。

その生徒は面を赧めて

『實は四五頁しか讀んでゐない』と云つた。と一人も

『四五頁では、その本がどんなものか分らないではないか』と云つた。級の者もこの最後の言葉に讀同するやうであつた。

實際その書物は少し冗漫である。初の四五頁を讀むと、誰にも倦怠の感じを起させる。がこれを終りまで讀んだ少年が面白いと云つたから、級の者は誰

も同意したのである。これを聞いて、生徒のうちで既にその書物を四五頁読んでだるいと云つて棄てたものでも、再び読んでみようと思ふ感起すだらうと思ふ。

他の少年が私に Zane Grey の書物は面白いですかと聞いた。その少年の父はそれを面白いと云ひ、姉の先生はそれを面白くないと云つたとの事である。

實際は Zane Grey の書物を私は非常に面白と思つた。が小供にそれを薦めてよいかどうか一寸思案した。その時私のすぐ前にゐた小供が

『非常に面白い書物です。が第一種に入れることは出来ないでせう』と云つた。猶彼は考へる體で、『第三種に入るべき書物です』と云つた。

又天性チツトしてゐられない非常な悪戯子の、それどころか眞面白な處のある少年が、

『「アンクル・トムの部屋」は如何ですか?』と私に問ふた。事實を云へば、あの有名な小説は、私も小供の時に讀んだが、それ程面白いとも思はなかつた。でどう答へてよいか一寸躊躇した。それでその少年に問ひ返した。

『お前はと思ふか』

『大變面白と思ひます。私が讀んだうちで最も面白い本だと思ひます』と彼は云つた。其の後、その少年は皆の前で『アンクル・トムの部屋を讀んでから私はもう黒人をニグロなど云へなくなつた』と眞面目に云つてゐた。

“Swiss Family Robinson” に就て、私は皆の意見を訊いた。多くのものは、その書物は餘り小供らしくて駄目だと云つた。成程、一家族が孤島に住んでゐて、彼等が欲しいと思ふ物が、すべて與へられると云ふのであるから少し子供らしいのである。がそれには反對もあつた。で結局級の四分の一の者はそれを第一種の書物の類に入れた。

斯様な例を一々擧げると果しないから、これだけに留めるが、この經驗によつて私は小供に自由に書物の批評をさせれば、全體として立派な批評が得られど云ふことを充分確め得た。彼等の意見は全體として充分信するに足るものである。彼等互に意見を述べ、啓發し合ふことなどは、到底大人の及び難い處である。

かうして小供の銘々が作つた目錄を纏めて第一種の讀み物(即小供が必ず讀まねばならない書物)の目

録が出来上つた。それには二人以上の子供が選んだ書物をすべて採つた。数日でこれが出来上ると、この方法によつて第二種の目録に取りかゝつた。それには唯一人の小供が選んだ書物が餘り多いので一先づ中止することにした。そして第一種の目録に選んだ書物のうち、まだ讀んでないものを銘々で讀むことにした。そこでその目録を刷つて皆に配つた。かうして三年間、毎年新しい生徒を相手に同じ経験を繰り返した。そして七十人の生徒の意見を得ることが出来た。その間、私はたゞ明らかに斥くべきと思ふ書物を除くことだけに努めた。——しかし除いた書物はたつた六冊であつた。

最後に出来上つた目録には第一種の讀み物約五十冊と、その内容の簡單な説明、それを選んだ子供の數(七十人のうちから)を記してある。子供等はこれを好んで用ゆる。子供等は自分の仲間で作つたもので、教師の選んだ例の『古い乾燥無味な讀み物』でないことが分つてゐるから安心して用ゆるのである。

次にその書名を擧げる。これ等は少くとも十人以上の子供が選んだものである。一般教師は自分の生徒にこれ等の書物を薦めて決して不都合はないと思

ふ。

- Adventures of Tom Sawyer.
- Arabian Nights.
- Biography of a Grizzly.
- The Black arrow. (七十名のうち四十四名選ぶ)
- Black Beauty.
- Bob, Son of Battle. (四十二名選ぶ)
- The Boy's Life of Theodore Roosevelt.
- The Call of the Wild. (四十八名選ぶ)
- Captains Courageous. (三十九名選ぶ)
- A Christmas Carol.
- The Deers Layer.
- From the Earth to the Moon.
- Gulliver's Travels.
- Hans Brinker.
- Huckleberry Finn.
- In the Great Apache Forest.
- Ivanhoe.
- Jim Davis.
- The Jungle Books. (四十四名選ぶ)
- Kidnapped.
- Kim.
- King Arther and His Knights.
- Lad, a Dog.
- The Last of the Mohicans.

Little women.
 Lorna Doone.
 The man without a Country.
 Men of Mon.
 The Merchant of the Venice.
 The Merry Adventures of Robin Hood.
 Monarch, the Big Bear.
 Mysterious Island.
 Oliver Twist.
 On the Warpath.
 Otto of the Silver Hand. (三十六名選々)
 The Prince and the Pauper.
 Red Fox.
 Robinson Crusoe.
 Rolf in the Woods.
 The Story of a Bad Boy.
 Swiss Family Robinson.
 Tanglewood Tales.
 The Three Musketeers.
 Tom Brown's School Days.
 Tour of the World in Eighty Days.
 The Trail of the Sanahill Stag.
 Treasure Island. (五十二名選々)
 Twenty Thousand Leagues Under the Sea.
 Two Years before the Mast.

Uncle Tom's Cabin.

Westward Ho!

White Fang.

Wild animals I have Known.

With the Indians in the Rockies.

此のなかで "The Jungle Books," "Swiss Family Robinson," "The Last of the Mohicans" の三つは、私が若し小供等は書名を指摘して薦めたならば、小供等は必ず見棄てるであつたらうと思ふ書物である。私がそれに就て何も云はなかつたから、幸ひ目錄に載つてゐる。

勿論此の外にも文學的價值のある立派な讀み物は澤山あるのであらう。がこゝに擧げた書物は少くとも少年讀み物として價値もあり面白みもあり極めて適切なものであることは確である。これが小供の立場から見ても大人の立場から見ても「健全な讀み物」であることは自ら信じて疑はないのである。

—— "The Outlook" 一九二二年八月十六日號

"The Book Table" 第九

低脳兒教育に就いて

醫學博士 三宅 鑛 一(談)

低脳兒の教育といふものは、中々注意すべき事でありまして、今迄でも多くの人々に依つて研究されて居ります、が學校にある兒童の中にも、どうも普通の子供と一緒にしてゐては、教育もし難いといふのが、澤山あるのです。これは、所謂低脳兒でありますので、特別な教育を施さなくてはならぬのであります。ところが、親達は、自分の子供が低脳兒だといふ事を非常にはぢて、もし先生等がこんな注意でもしようものなら、非常に憤る人があります。これは非常な間違ひでありまして、低脳兒であつたならば、かくすどころか、色々の手段をつくして、少しでも善く導いてやることにせねばなりません。

市社會局では、この十月から、東京市内の各區に一つ、低脳兒に特別な設置をした學校を設けることになりました。そして幼稚園や小學校に於て、先生が學業其他を見て低脳兒とさきめ、又校醫が身體検査

して異常であることを認め、其の上に心理學者がテストをしていよく低脳兒と定まりましたならば、低脳兒特別の教育を施すことにいたします。先づ收容する兒童は、低脳程度の強いものから、又年齢の少ないものから、することに致します。

然しながら、低脳兒と申しましても、その程度によつて色々異つて居ります。學科の時間割を製作することは非常に困難であります。單に、普通の子供よりは少し頭の働きがにぶく、父兄又は教師が注意して指導すれば普通の兒童と同じやうに進んでゆくのもあります。また如何に努力してやつても、どういふ救ふべからざるものもあります。低脳兒の教育に於ては材料や方法を研究することが特に必要であります。

低脳兒教育の如きは早い時期から始めればそれだけ効果が多く、小學校よりはむしろ幼稚園時代から、三四歳頃から始めれば尙更よろしいのであります。

それ故に 幼稚園の先生方はよく注意して、低脳兒を早く知るやうにせねばなりません。

低脳兒はどんな傾向をもつて居るでありませんか、一言話して見ませう。低脳兒は子供の時から發育がわるいのであります。握る力が弱かつたり、言葉の發音が容易に出来なかつたり、赤んぼは人の云ふ事は了解するものであるのに、生後一ヶ月以上立つても少しもさういふ傾向がなかつたり、又生後十四ヶ月以上も立てば言語を發するのであります、それがいつまでも言語が不充分でありましたりするは、低脳兒になる證據であります。いつまで立つても、歩行が充分でなかつたり、指先がにぶくて働きがなかつたり、模倣慾が出来るのにそれがなかつたり、小便を時々そそうするとか、四五歳になつてカ行やサ行の發音が出来なかつたり、注意力がにぶくあつたり、わるく剛情をはつたり、或はひつこみ思案になつたり、他の子供と遊ばなかつたりするのもその特長の一つであります。

又、よく子供の様にひきつける事を度々するのがあります、「ひきつけ」は腦の薄弱な證據であります。又、非常に神経質であつたり、小心であつたり、

臆病であつたりするのもそれでありました。又、好き嫌ひがはなはだしくありましたり、夜は安眠することなく、眠りついたと思ふと、何かに驚かされたやうにぱつと飛び起きたり、又、物を少し餘計に食べると下痢をしたり、嘔吐を催したりします。

これ等の細い一つ／＼の傾向が、もし小兒にあらはれておましたなら、母親や幼兒の教育に従事する人々は、大いに注意して置かなければなりません。

低脳兒は保母や守がよく注意せねば、早熟してしまつたり、感情教育が充分でなかつた爲に、粗暴になつてしまつたりします。又身體の方でも極めて細い注意を以て、育てあげなければなりません。

低脳兒といふものは、子供自身の將來の不幸は云ふまでもなく、その父母の悲しみは何とも察することが出来難いものでありますから、低脳兒でも出来るだけの事は工夫してやつて、より善くすることに努めてやるべきが、人間としての同情であります。

低脳兒教育も我國では近頃盛んになりましたばかりで、外國などと比べましては、まだ／＼遠ひことでありますから、社會の人々も共に協力して、新しい設備を施すことを望みます。この點に於て、今度市社會局で始めた低脳兒學校の如き、心から喜んで居るのであります。(文責在記者)

動作 ピョン太郎の運動會

東京女高師
幼稚園保姆

坂 内 み つ

登場人物(なるべく組の子供總出)

母蛙

ピョン太郎(子蛙)

ピョン吉(ピョン太郎の友達)

先生(蛙四匹)

準備掛(蛙大勢)

競技者(蛙五六匹)

遊戯者(蛙大勢)

準備品

テーブル 一。 椅子 一。

旗(紅白)數本。小旗(二等二等と記入)其他數本。

賞品 數點。 其他運動會の光景をあらはす

品々とりぐ。

第一場 (ピョン太郎の家)

テーブルと椅子を準備して置くテーブルの上

には辨當二つ、シヨール、帽子を用意する母
蛙出場新聞を讀んで居る

ピ「お母様よいお天氣よ、うれしいな、早く運動會に
いませう」

赤い小旗を手にしたピョン太郎元氣よく出て
くる

母「用意が出来たら出かけてませう、そら御覽なさい

新聞に出て居ますよ、ピョン太郎さんのトビッキ

競争もありますよ、しつかりおやんなさいよ

ピ「僕お隣のピョン吉君を誘つて來ます

母親帽子をかぶり用意をする所にピョン太郎

ピョン吉手をつないで出てくる

二人「さあ行きませう」

三人辨當を持つて元氣よく出かける、

第二場 (運動會場)

先生の蛙は準備係を指揮して會場をつくる

(旗を立て網、ボール、小旗を持ち出し運動會の氣分をつくる)、蛙の校長先生は椅子につき賞品にビヨン太郎カルタを用意して置く
母蛙其他見物す、
遊戯(女兒全體)
競技(トビッキ競争) (ボールをつるしたもの為準備する)

ビヨン太郎、ビヨン吉、其他五六人列ぶ
用意、ドンにて走り出す

ビヨン太郎一等になる
見物喝采、ビヨン太郎君萬歳の聲起る

ビヨン太郎、校長先生から賞品を貰ふ、
母蛙の所にかけて行く

ビ「お母様、僕一等になりましたよ
母「おう強い、よい子、よい子

喜んで頭をなでスキップしながら會場を一廻りして退場する。(終り)

~~~~~  
子「涙が御飯の中へ落ちたら汚い？」  
△「まあ？」

子「汚いや、食べられないね、同じだろ、涙だつてお顔から出るだもの。」  
△「……………」

心理研究會發行の「心理研究」は大正十二年度より内容を刷新し從來よりも一層應用心理の方に力を盡し且つ海外に於ける最近の研究を紹介することに主力を注ぎ兼ねて時事問題の心理的解剖、心理學界の人事消息等に相當の頁を割くことにし大に發展する由其の内容豫告左の如し。

大正十二年一月號内容

最近十年間に於ける心理學教科書の進化

インディアナ大學 シエ・アル・カンター

心理學に於ける法則に關するブート

ルー氏の見解

心理學上「立場」の問題

研究と宣傳—視覺的教育の場合

家庭の狀況と知能

學習検査と兒童の學校成績との相關

精神検査で従業員の選抜が出来るか

科學的管理法の將來

歐米心理學の近況

ライプチツヒ消息

心理學應用の諸方面

産業能率

研究所長

産業能率

産業能率

産業能率

文學士 佐久間 鼎

文學士 岡本 重雄

文學士 岡部 彌太郎

文學士 青木 誠四郎

文學士 森谷 金子

産業能率 上野 陽一

産業能率 荒木 東一郎

産業能率 増田 惟茂

産業能率 在 獨 城戸 幡太郎

産業能率 文學博士 松本 亦太郎

産業能率

産業能率

産業能率

産業能率

産業能率

産業能率

産業能率

# ○玉成保姆養成所生徒募集

東京府社會事業協會の音樂遊戲講習會  
事業協會

來る四月新學期入學希望の方は入學願書に履歷書

及醫師の身體検査表相添へ東京市麴町區上二番町三

十六、ソファヤ、アラベラ、アルウキン宛御送附の

こと。

尙詳細は電話(九段、一八二)又は直接御問合せを

乞ふ。規則書御入用の方には御送附申すべし。

東京市麴町區土手三番町十六。玉成保姆養成所。

東京府社會事業協會の第一部保育分科會は去る大正十一年十月二十八日より毎週木、土の二回毎回二時間迄總計八回神田區三崎町東京三崎會館に於て音樂講習會を開催せり講師は東京府女子師範學校教諭大和田愛羅氏にして府内各保育所保姆其他職員四十名乃至三十名毎回出席せり右音樂講習終りて引續き十一月二十五日、十二月二日、七日の三回遊戲講習會をも開き講師は麴町小學校長土川五郎氏、出席者前者と同じく皆熱心講習を受け裨益尠からざりしと。

雪のない晴れやかなお正月を都へた直さんは汽關車四つ附けてもまだ雪の中に立往生するような汽車に乗て北陸のお國へ歸て行きました。止むを得ぬ用事もないのに、急用でもないのに。往復に半分もとられてしまふ、たつた七日のお休みをじつとしてゐられないで、二年逢はない父母の戀ひしさに堪へかれてでもありません。

「故郷をなつかしめる人は幸だ、歸り得る故郷のある人は羨しい」と或人が云ひました。ほんとうに都會人には歸りたくても故郷がありません。毎日眺めた山の雲、朝晩きいた涙の音、お國なつかしの思ひを知らません。

激しい戦鬪の世へ送り出されて行く誰れも誰れもが、せめて「幼き日」の朝夕を、「幼き日の親しき群」を故郷の思ひで一人一人の胸に持ちたいと思ひます。

「幼き日」への光を明るくも暗くもする鍵。それは一生の中の瞬間にすぎなくとも、私達の手へ渡されます。

# 幼稚園のゲームについて

原著 ライトソン

補譯 土川 五郎

遊戯には御存じの如くプレイとゲームとある表情や律動を集團的にやり又は一人で或は數人で自由に遊ぶのもプレイである勝敗の意味を持つて居るのがゲームである、ゲームにも個人が何回も繰返して其

優劣を考へるゲームもある赤白の如く團體的にやる競技もある、幼稚園遊戯がプレイの方に傾き過ぎはせまいか、其プレイなるものがあまりに六ヶ數いものに陥入りはせまいかと懸念に堪えない、此の感じを持つて居た或る日倉橋先生から一冊の本を示された、書名は幼兒を發育させるゲーム (Game For Children's Development) 著者はヒルダ、エ、ライトソン氏である

此の本は幼兒の爲し得るゲームを澤山に集めたもので其中にある種類に中々よいのあるので本月號から順次に掲載して皆さんの参考に資したいと思ふ、勿論原書其儘ではなく我國幼稚園に當てはまる

様にと思つて取捨選擇もする積りである。

先づ其ゲームをするについて著者が親切な注意を緒言に書かれた、其要點は次の様である。

ライトソン氏曰く

此本に載せたゲームの種類は重に母又は教師が通常兒や發達の優れた幼兒に對して用ゐる爲めに書いたものである、又此の遊戯は三方より始めて筋肉の均齊なる發育と感覺及び知覺の發達を計ることに重きをおいた。

これを實際に施すにはいろ／＼の注意すべき事が随分多い、其うち最も肝要なものを擧げて参考に供したいと思ふ。

一、遊戯を爲さんとするには先づ第一に幼兒をして遊ぶ氣分にならせることが大切である

二、凡て順序方法は簡單を以て一貫して居らねばならぬ、たとへ簡單な遊戯でも教へ方が複雑である

と幼兒の心に混雜を起さしむるものである。

三、遊戯それ自身よりは其仕方に價值があることを忘れてはならぬ。

四、幼兒の心には一時に一つ事より多く起さしめてはならぬ

五、通常兒と遲鈍兒とを一所に教へるには教師が辛抱よく、勇氣があつて併も樂觀的であることが必要である、兒童の方で教師が期待して居る様な良い結果を出さない時に常に獎勵の詞を以て導くことを忘れてはならぬ

徹底したる方法と鋭き觀察力と此の二つが備はれば教師の心が幼兒の心に貫徹する

六、簡單にして明確なる方法と教師の確信とがあつて始めて彼れは發達し、強固な統合力も得らるゝゲーム進行の形式に少しの變更があつても子供の心には混亂を來すものである

七、凡ての發問も答も出來得る限り具體的で簡單でなければならぬ、過多な課程と抽象的な考へは避けねばならぬ

八、ゲームに用ふる詞

ゲームに用ふる命令や合圖は簡單明瞭を第一とす

る、「ヨイドン」とか一二の三の如き待ち構へる間と運動を起す其つながらの長さの發聲の音の強弱高低とはゲーム全體に關係をするものである、運動を起す瞬間の合圖ドンとか三といふ詞は鋭くはつきりと云はねばならぬ

始むる時の合圖は常に同じ形式でなければならぬ合圖命令にはあまり多くの語句を使つてはならぬ合圖命令が變つたり(同じゲームに)又ゲームの仕方中途で變更すると幼兒の心は變つた事に注意が集中して其の爲めにゲームすることも又ゲームに大切な條件も打忘れるものである

不成功な出發點をもつたゲームほど迄も不十分な氣分が支配して行くものである

九、教師はゲームの間に幼兒が其ゲームに氣乗りがして居るか、疲勞の徴候は示さぬか、興味を失ひはせぬか、に絶えず鋭き觀察を要する若し是等の點が芽ざした時に機轉をきかせて直ちに變化せしむる必要がある

全幼兒中で僅少な一部のものゝみ緊張して他の多數が乗つて居らぬ場合には其ゲームは無効であるゲームをやるのに其選ぶゲームの種類が幼兒の其

時の氣分によく合致させねばならぬ、又ゲームが幼兒の心を引きつける力の強いものでなければならぬ、ゲームを行ふ室は氣持のいゝ平和な空氣に充ちて居らねばならぬ、併も幼兒に取つて最愉快な氣持ちは其室と其ゲームと外に最も大切なものは教師自身の氣分と容姿態度である

る

一〇、ゲームに要する時間は長くても十四五分以上になつてはいけぬ、長いと不活潑になり粗暴に流れ、注意集中の力が微弱になる

一つのゲームを完結する迄に長い間連續的の骨折は却へて其ゲームの主要目的を失つてしまふ

二つの相似たる不活動的のゲームを連續してはならぬ

一一、リズムと歌とは自然的に簡單な運動を起して來る、ゲームは此のリズムと歌とを適當に配合することは最大切である、獨りゲームを效果あらしめる計りでなく、リズム感を發達させ、音の練習と感ぜを和げる點に最も力あるものである

一二、ゲームに使用する材料は極めて簡單なもので

なければならぬ

床上にかく線はきれいに正確にかゝねばならぬ  
ゲームに用ふる豆囊は五寸四方の厚地の布、はつきりとした色で小さい堅い豆を充分に入れる  
ボックスは長さ八寸幅一寸五分厚さ二寸の木片  
(煉瓦の様な)で隅(稜)が正確であるもの  
ボールの形は齊整なもの

## 一、豆囊投げ

準備 淺き木の箱、豆囊

幼兒に一つ宛豆囊を持たしめて圓形に床に坐せしむ、箱を中心置き子供同志の間隔を三尺位の離れ方にする、幼兒は教師の命令によつて順番に己れ持てる豆囊を中心にある箱に投げる。(入れんとして努力する)。

此のゲームは主として足の弱い子供によい故に活動的の遊びとはなし得ない。

目的 目と手の練習、遊戲精神の喚起

## 二、色合せ

準備 赤緑及黄色の同数のボックス

幼兒に一つ宛ボックスを持たせて半圓に坐せし

む床にチヨークで一列に三つの圓を描く、一つの圓には赤一つには緑一つには黄色ブロックスを置く  
順番に幼兒を呼出す、呼ばれた幼兒は自分の持つて居るブロックスの色と圓内にあるブロックスの色と同じき圓内に自分のを置く、(ブロックスの積み方を定めておくもよし、竝べるもよし)第一の子供が自分の位置に戻つてから次の子供が出掛る様に

此ゲームは色の名を云はぬ事、子供が一人で視覺に訴へて目的を遂ぐる事

目的 色の感じの練習、統合を計る

(つづく)

謹 賀 新 年

大正十二年元旦

日本幼稚園協會

自分で歩るかうとして(無い處を創つても)あるいてゐる道。  
自分では望まないのに仕方なしに他人の意志に歩かせられてゐる道。

自分で歩るけない事を知て人に歩かしてもらつてゐる道。

自分で歩るかうとも思はず、人が歩かせるのでもなく、どうしても歩るかなければならないように目の前にひらかれてゐる道。

笑ひながら、

泣きながら、

つぶやきながら、

唄ひながら………

みんな、行く——

私は、どの道を歩るいてるのかしら。

## 保育會の感想

關西一會員

十一月十二日、大阪にて開かれたる保育會に出席した。諸先生の御話を拜聴した中、最後に稻葉園長先生が述べられた『遊戯に就て』の御説に關し、少しく所感を述べさせて頂き度い。

『幼兒に歌劇を演ぜしむる目的が、子供の爲めと云ふよりも寧ろ參觀者の賞讃を博する事に傾いてゐるならば、幼稚園の爲めの幼兒となり、保育の主旨に反す』とは終始私の考へてゐる所であるが、先生の仰せの如き深き御信念に基けるものなれば、如上の卑見には何等關せない譯である。

そこで、先生の御意の存する所を拜察して私が考ふるに

一、幼兒が歌劇を習得せんとして努力してゐられる事は結構だが、其努力してゐられる事が、本人の心身の發育の程度に最も適當してゐるかどうかを、常に注意しなければならぬと思ふ。

天才教育等の例より見れば、眞に子供の本心に適

合せる活動にては、子供が之を行ひつゝある時既に大なる興味あり、其興味に依りて我知らず努力してゐるのであるから、本人は少しも無理や苦痛、辛抱を感じない。

現在吾人の行ひつゝある教育法、子供に提供しつゝある教育材料が、どの位の程度に迄子供の本心に適合してゐるかといふ事は、子供が、之を課せられてゐない時にも自發的に反復し、或は進んで之を教へられむ事を要求するのが如何に熱烈であるかといふ程度にて判断が出来るであらう。斯くして我々は、常に自ら反省して、出來得る限り子供の本心に適する様、自然の發達律に副ふて子供を教育すべきである。斯くしてこそ、子供の努力は、其過程に於ても結果に於ても共に最も價值ある事となるであらう。

二、幼兒の藝術的材能を開發せしむるには、遊戯以外にも此目的に叶ふ保育科目があらう。只遊戯は大人の眼に最も美しく見られ、私も當日



の遊戯を拜見して其華やかにして可愛らしきしかも巧なる動作には賞讃措く能はなかつた者である。之に比して手技は、其處に直接幼兒の愛らしき御姿を見得ない爲か、或は年長兒の作品と比較せられ易き爲か、遊戯程に大人の賞讃を博する事が出来ない。

しかし、既に我々の目的が藝術的材能の開發にある以上は、上述の如き賞讃の多少を以て保育科目の價値を論ずべきでなく、其の保育が幼兒の心身に對する交渉或は影響の如何に依て其價値を論ずべきである。斯く考ふれば、手技も遊戯と同様の價値を有するもので、殊に幼稚園の本領とも云ふべき自發的創造作用の開發は、書き方、砂遊、粘土細工等に依て最も適切に實現さるべきものと思ひ、此點に於て遊戯はいさゝか遜色ありと認む。私は、幼稚園に於ては、上の如き手技には遊戯以上に力を注ぐべき必要あり價値ありと思ふ。

三、幼兒が、自己を他人に認めしめたいといふ本能的慾求を有し、之を満たしめる事が大切なものならば、天才教育の如きは最も此主旨に叶へるものであらう。私は、木村久一氏著『早教育と天才』を讀んで、初めて早教育が如何に合理的であり、且結果の偉大

なるものであるかを知り、其後益々幼兒教育に興味を深うするに至つた者であるが、僅か九歳にて大學に入學し、十四歳にて哲學博士、十六歳にて法學博士となつたカール、ギッテ等は、如何に名聲噴々たるものであつたらうと思ふ。早教育は尙今日以後の問題で、學齡前の教育に重きを置くものであるから、幼稚園にも適當な方法で此精神を取入れ、家庭と協力して大に研究、實行されん事を望んで止まない。

松村武雄、田邊尙雄 講

### 童話童謡及音樂舞蹈

右は兒童研究講習録第六編として、兒童保護研究會より最近發行せられた。

童謡舞蹈が近來非常に盛になり多少流行や上すべりをまぬかれ難い傾もありはしまいかと思はるゝ時、斯界の權威たる兩氏の研究を發表せられたのは誠によろこぶべき事である。

## 英國の保育學校

倉 橋 惣 三

### ○近世の社會的幼兒問題

近世に於て、社會的に幼兒の問題を注意するやうになつたのは、先づ第一には人口政策の上から起つて來た問題である。詰り生れて一年間位の子供、或は所謂嬰兒期と名付けられて居る二三歳位までの子供に非常に死亡率が多い。其死亡率が多いと云ふことは色々の原因もあるけれども、大きく考へて見れば要するに家庭の缺陷に基くもので、其家庭の缺陷と云ふ中には二つの理由がある。一つは家庭の物質的缺陷と、一つは幼兒養育者としての母の資格に於ての缺陷である、其物質的缺陷と云ふのは普通に云へば詰り貧乏と云ふことであるが、貧乏と云ふことに基いて、住居が狭いとか、或は食物を充分に與へることが出來ないとか、或は幼兒に適當な溫度を調整することが出來ないとか、或は適當な空氣を供給することが出來ないとかと云ふやうな色々の缺陷があ

る。それから母の方の資格に於いては、是は又二つの問題があつて、一つは母が家から外に出て勞働をするに、所謂工場勞働と云ふものが始まつた爲に、母親が自ら自分の子供の世話をすることが出來なくなつた。即ち其の根本的意味に於ける母の資格の缺陷である。それからもう一つは、假に家庭に母が居ても、其母が子供を育てると云ふことに於て無智である。適當な乳の與へ方も知らぬし、適當な食物の提供の仕方も知らない。殊に子どももの精神的の訓練の方面に於て母として非常に無智である。斯う云ふ理由に基いて、すなはち幼兒死亡と云ふ現象が非常に多くなつて來るのである。勿論大きな社會政策の上からいふならば、幼兒が死ぬと云ふことは、必ずしも斯う云ふ家庭内だけの問題ではなくて、廣い社會の狀態に原因があるのであるけれども、それは暫くそれとして、兎に角く斯う云ふ家庭の缺陷に基く原因を救つてやらうと云ふ所から、所謂幼兒預り所

どか或は保育所と云ふやうなものが起つたのである。

と。ところで此保育所と云ふものは甚だ色々の意味に使はれて居つて、第一どの位の年齢の子供を預るかと云ふことに就ても一定して居らぬ。或は又預つた子供をどう云ふ意味に於て保護して行くかと云ふことに就ても一定して居ない。或は又どう云ふ設備をしなければ保育所として社會が承認しないかと云ふやうな條件も充分に定つて居ない。或は又保育所中に働く人と云ふものはどんな人であるべきか、どんな人で其の事業の實際の中心になるべきであるかと云ふことに就ても一定して居ない。つまり年齢に於ても其保育の仕方にも設備に於ても或は其幹部に於きましても充分に定つて居ない。そこで保育所と云ふ言葉は各國色々區々の内容を持つて使はれて居り、我が國の如きも極めて曖昧な言葉であつて、どんなことをしても保育所と名を付けさへすればそこが保育所として認められるといふやうな形になつて居る。そこで、誰も之に就て判然と一定して行く権利もある譯ではないけれども、私は先づ便利上、英國が千九百十九年に發表いたして居る所のデーナーセリーの規則に基いて保育所と云ふのを解釋して

置かうと思ふのである。

其解釋に依ると、三歳以下の子供を預る所を之を保育所として居るのである。其下の年齢は判然定めて居らぬけれども、英國の乳兒保護の政策に於て母親が自分の子供を自分で育てると云ふことを獎勵して居る點から、自分の乳を飲まして居る間は成るべくデーナーセリーに收容することを獎勵しないところが、つまり其意味から大體八箇月位まではなるべくデーナーセリーに預らないといつてよい。即ち母親が自分で之を育て、行くこと云ふやうなことを本體にして解釋して居るのである。勿論、事情によつて、極く小さい乳兒も預るが詰り三歳以下の乳離れをしました子供の世話をするに云ふことを以てデーナーセリーの本體とする。之が先づ、我々が今日稍々判然考へられる保育所と云ふものであらうと思ふ。

所が最近になつて、此家庭の缺陷と云ふことは段段に多くなつて來た。即ち家庭の缺陷と云ふことの意味が段々擴がつて來たのである。物質的の貧乏と云ふことは別に變りはないとしても母の資格と云ふ問題に於きまして色々又是が變つて來た。どう云ふ

點に變つて來たかといふならば、今日の大體の傾向に於ては、母親が家庭に居ないと云ふこと、即ち母親が自分の子供を自分の家庭に於て育て、行く暇がないと云ふことが、必ずしも以前に考へて居たやうな、極く低い意味の勞働階級の問題ばかりでなく、謂はゞ中流階級に稍々近いやうな所まで段々に擴がつて來た。詰り初めは人口政策の上から斯う云ふ幼兒保護問題が發達して來ました時には、極く狭い意味に於ける勞働者即ち工場で働く所の勞働者の家庭を助けると云ふやうな意味が主であつた、所が近世の更に新しい傾向は極く低い意味の社會階級の母親のみが、其子供の保育に於て事缺くばかりでなく、其範圍がずつと擴がつて來たのである。ところ此範圍が擴がつて來ると、此の問題は單純な人口政策から、もつと普遍的な婦人職業問題に關係する所の現象に變つて來たのである。さて婦人職業問題に變つて來るといふと、其處に二つの結果が起つて來た。一つは其幼兒を預る所の範圍が非常に廣くなつて來たこと、それから一面に於ては、其預るべき幼兒の年齢が段々に長くなつて來ると云ふことである。其幼兒の年齢が長くなると云ふことは他の言葉でいへ、

ば、學齡期まで之が延びて來ると云ふことである。つまり問題が年齢に於て段々延びて來ると云ふことは、學齡期まで近付いて來るといふことで、さうすると保育所が三歳以下の子供を預つて居つたのに對して、之から又上の二年間と云ふものを何處かで世話をしなければならぬといふことになつて來る。即ち六歳以下の年齢の問題が此處に起つて來る譯である。此處で初めて本當の意味に於ける、嚴密な意味に於ける社會的幼兒問題と云ふものが起つて來る譯である。

元來生れて直ぐの子供を人口政策の上から保護すると云ふことは初めは佛蘭西に起つた事であつて、所謂母親學校と云ふやうな意味に於て起つたのである。それが亞米利加に於てデーナーセリーと云ふ意味に於て行はれた。それが亦段々に今いつたやうな婦人職業問題が擴がつて來て、其要求を満たす爲に、デーナーセリーと云ふものが段々に其仕事を擴げて來て、即ち今日亞米利加のデーナーセリーと云ふものを見るに必ずしも三歳二歳一歳所謂赤ん坊に屬するものが其處に世話をされて居るばかりでなく、もつと大きな子供が其處に澤山に世話をされて居る。

丁度幼稚園期に屬する子供が其處に澤山に收容されて居るのである。もつと進んでは、更に小學期の小供まで預るやうな傾向を生じて居る。さうなつて來るとデーナーセリーと云ふものは何處まで其働が擴がつて行くか甚だ止る所を知らないやうな状態である。之も決して必ずしも悪いと云ふ譯ではない。デー

ナーセリーと云ふものが初めは社會の必要に於て極く赤ん坊を預つて居たけれども、段々にそれが大きな子供まで延びて行けば、四つになつたものももう、私の所では預らない、小學校へ行くやうになつたから私の所では關係がないと云ふやうなことは云はず、必要に應じて其事業を擴大して行くと云ふのは大に良いことでもありませう。併し、我々がデーナーセリーと云ふ問題を考へる上に於ては、餘り之が擴がつて行きました、何處まで行くのか分らない不便はある。紐育のマンハツタンにあるデーナーセリーなどは其例に於て最も著しいものであつて、極く赤ん坊を入れて居る處のベビイクラスもあるけれども、併し可成り大きな働が幼稚園及び小學校期の子供にも及んで居るのである。そこで若しデーナーセリーが其處まで段々進んで來て幼稚園期の子供ま

で入れると云ふことになる。幼稚園とデーナーセリーと云ふものゝ區別が何處にあるかと云ふ問題が當然に起つて來る。即ち幼兒の社會的及び教育的問題と云ふことの其關係なり區別なりが何處にあるかと云ふことになつて來る、我が國に於ける現状は稍々其状態に入つて居る。

### ○保育所と幼稚園

即ち幼稚園と云ふものと、保育所或は托兒所と云ふやうなものがどう云ふ區別があり、何處が違ふかといふ問題になる。之は經濟的に區別するならば、幼稚園は保育料を取つて居る所であり、托兒所は保育料を取らない所であるといふ風もある。即ち亞米利加流の言葉で云ふと、無料幼稚園であると云ふやうな意味に於て此デーナーセリーを普通幼稚園から多少區別することも出来る。併し是は純粹な經濟上の區別であつて、其内容に於てはどう違ふかと云ふ問題は甚だ曖昧になつて來る譯である。ところで亞米利加に於ては幼稚園と云ふ言葉が二つの意味に使はれて居る。一つは幼稚園と云ふものは例へば何々小學校附屬幼稚園とか或は某私立幼稚園であると云ふ

やうに、一つの教育の場所を名付けると云ふ意味に於て使はれる。我々の使つて居るのは其の意味である。それからもう一つは幼稚園即ち、キンダーガルトンと云ふ言葉は教育の方法をあらはすことに用ゐられる。此二つになつて居るのである。即ち今言つたやうなデーナーセリーが子供の年齢を段々擴大して來て、五歳六歳の子供まで居ると、云ふことになつて來ると、此デーナーセリーの中に於て、キンダーガルトンメンソッドを用ひて教育すると斯う云ふ風

な考へ方をして居るのである。亞米利加の良いデーナーセリーでは、多くは衛生的方面の人が世話をして居る。其處へ特別に幼稚園の先生が教育の方面を擔任するといふやり方である。其人が時間を定めて子供の教育をする。其處に始終泊つて居るのもありませんが、或る場合に於ては通勤で來る人もある。さう云ふ風な意味に於て幼稚園と云ふことが幼稚園的の仕方即ち幼稚園教育法と云ふやうな意味に於て使はれて居るのである。さう云ふ風な關係でアメリカではデーナーセリーと幼稚園と云ふものが益々區別が曖昧な關係になつて來る。言換れば社會的幼兒問題と教育的幼兒問題とが段々接近し或は混合して來

て居ると云ふことが云へるのである。ところが、英吉利に於ては之を判然區分する爲に唯今申上げた如く千九百十九年にデーナーセリーの法令を發布して、それを三歳までに限ると共に他の方面に於てナーゼリースクール即ち保育學校と云ふものが初めて出來たのである。

### ○英國の保育學校

其の保育學校と云ふのは英吉利には前からあつた名前であるが、元來英吉利には幼兒學校と云ふものがあつて、それが小學校に附屬をして居る。小學校の前にさう云ふ幼兒教育をするのである。其幼兒學校と云ふ所では、相當に智的な教育を與へて、我が國の言葉でいふならば讀み方書き方及び數へ方と云ふやうな簡單な智的な教育をして居る。それが近世の幼兒教育の思想から云へば甚だ適當でないこと云ふやうな議論が起つて來た。それに對して可成り古くから此ナーゼリースクールと云ふものが一方に起された譯であつた。

保育學校と云ふものは矢張り小さい子供を入れるけれども、併し在來のインフアントスクールでやつ

て居りましたやうな智的教育を成るべく避けて、幼稚園的教育をして行く云ふのである。色々の先驅者があるが殊に倫敦に居るマクミランと云ふ人が其方の先覺者であつて、自分でも相當立派なナーゼリースクールを持つてやつて居る。一面にはインフアントスクールがあり一面にはナーゼリースクールがあり、一方では智的教育方法をとり、一方では自由な生活を與へると云ふやうな二つのものが對立して居るのである。之れは英吉利人も長く考へて居つた所であり、今から約十四五年前から、特に政府が其點に非常に注意をし始め、斯う云ふ調査を可成り大仕掛の意味に於てやつたのである。其のために五歳以下の子供を教育する其仕方は現在どう云ふ風な状態になつて居るのであらうか、或は又どう云ふ風なやり方をしたらいふものであらうか、詰り五歳以下の兒童、我々の云ひます所の所謂幼兒期の教育と云ふことに付て調査をした。又一面には歐羅巴の各國の状態を調べる委員を作つたり、皆婦人の委員だけでさう云ふ調査をしました。それに依つて今から十五年前に或る一つの調査報告が相當の内容を持つて發表されて居る。其時に其委員の結論が大體ナ

ーゼリースクールの方を是認する傾向を持つて居つたのである。即ち、インフアントスクールは幼兒に甚だ適當なものでない、そこでインフアントスクールと云ふものは甚だ缺陷がある、併ながら缺陷があるならば直ぐに其インフアントスクールを廢めて仕舞つて學齡に達するまでは學校教育と云ふやうなものに子供を連れて來ない方が適當かと云ふ問題を其處に出して、委員の答は斯う云ふ風になつて居る。

私面白いと思つたのであるが其報告の中に、英吉利の多數の家庭は未だ決して幼兒にとつて悉く完全なものと云へない。しかも幼兒を小學校に連れて來ると云ふことも色々の弊害がある。併し其不完全な家庭と學校に伴ふて居る弊害缺點と云ふものと引くらべて考へれば、矢張學校を設けた方が宜いと云ふ極く常識的な議論をして居る。何も頭から五歳以下の子供に特別に家庭外の教育をしなければならぬと絶對的の原理として説くのでなくて、成る程それは弊害もあれば缺陷もあるであらうが、併ながら幼兒の爲に一番良き世界である家庭と云ふものにもまだ完全と云ふ譯にかぬ點があるとするれば、つまり此の方が利があると云ふやうな意味に於て此ナーゼリ

トスクールの必要を説いて居るのである。

英吉利のことでですから、何事もゆつくり運んで來るのであるが、それが段々社會的問題になつて、さうしてつい最近に、千九百十八年即ち戰爭の最中であります。英吉利の教育の大改革が起つた時に、ナーゼリースクールと云ふものは、斯う云ふ風にすべきものである、といふ相當に委しい一つの法令を發布して、其法令に基いて設けられたものは國家が其經費の約半分を補助すると云ふことにしたのである。勝手に作るならば作つてもいゝといふ從來の態度から、法案に叶つて作るならば其半分の費用を補助すると云ふやうな意味で法令的に承認したのである。

勿論ナーゼリースクールと云ふものは英吉利に於て今日義務教育の中に這入つては居ない。言換れば各地方は必ずナーゼリースクールを作らなければならぬといふ規則ではなく、又總ての子供が必ずナーゼリースクールに行かなければならぬと云ふことにもなつて居ない。英吉利の文部省はナーゼリースクールの利益を述べて、出來るだけの之が多く普及することを希望し、殊に婦人職業問題に密接な關係の

ある地方に於ては、ナーゼリースクールの速かに設けられることを希望すると云ふやうなことを獎勵的に述べては居るが、義務教育にはなつて居ない。併し、義務教育にはなつて居ないけれども、此處に始めてナーゼリースクールと云ふものに依つて五歳までの子供をどう云ふ風に社會的に世話するのが正しいやり方であるかと云ふことが國の教育法令に依つて定つた譯である。或る特別な慈善家が哀れな子供を預かるとか、社會が或る特別な必要に迫られてナーゼリースクールを作るといふのではなくて、國家が五歳までも子供はどう云ふ風に世話するのが適當であるかと云ふことを規定した譯である。そこで前に言つたやうに、千九百十九年の法令でデーナーゼリーを三歳までと限つたのであるが、ナーゼリースクールは二歳から五歳までと云ふ風に定められて居る。二歳と三歳、之が妙に食違つて居るやうであるが、是は兩方共何も義務教育でも又義務機關でもないものであるから、どうしても自由である。英吉利の流儀で其處らは實に各自の自由の餘地が存してある。若し公的に承認せられたデーナーゼリーに子供が這入つて居るならば、それは三歳から後にナー



ゼリースクールに引移つても宜いと云ふことになつて居る。更に若しデーナーセリーに於て必要があるならば、即ち、其近所にナーゼリースクールがないと云ふやうな時には、三歳以上の子供が止まつて居ても宜いと云ふことになつて居る。而してデーナーセリーの方は衛生省と云ふ方で管理して居る。日本で云ふならば内務省の衛生局である。是は戦時中に英吉利が國民衛生の非常に大切なことを感じて、衛生省と獨立したのであるが、其衛生省で管理して居るのである。従つてデーナーセリーの規則は、及びそれを監督する方のことはその方で受持つてやつて居る。それから新しく出来ましたナーゼリースクールの方は文部省の方でやつて居るのである。

### ○保育學校の目的

ナーゼリースクールは今いつたやうな譯で承認されたのであるが、其目的は二つあると考へられて居る。即ち身體的保護、子供の健康に屬する問題と、それから、心の方の一種の訓練、此二つの目的になつて居る。デーナーセリーの方は身體の方が主であつて、さうしてそれに附隨して、矢張精神の方も

幾らか注意しなければならぬと云ふやうな説き方になるのであるが、ナーゼリースクールの方に於ては之が同一の價値を持つた二つの目的として考へられる。身體の方では栄養と休息と運動と此三つを充分に與へる。さう云ふ目的からナーゼリースクールでは必ず食物を子供に與へる、朝子供が來ると、朝とお晝との間に一度食物を與へる。それから晝の御飯を與へる。それから歸るまでの間に一度又與へる。若し必要であるならば朝飯も與へたら宜からうと云ふやうな議論もある。詰りナーゼリースクールを英吉利の文部省が承認した大きな理由の中には、次の様な理由があるのである。大戦争の結果英吉利の壯丁の健康を調査をして見た所が青年の健康に甚だ缺陷が多い。是は小學校の義務教育の中でもう少し注意しなければならぬと云ふ結論になるのだが、所が小學校の方では小學校期に於て非常な注意を以て子供の健康をはかつて、既に六歳に於て子供を受取つた時に多くはもう身體が悪くなつて居る。即ち入學の時にもう少し早く手を著けて居つたら宜かつたらうと云ふことが屢々起るのである。英吉利の近頃の教育問題のどの中に於ても始終さう云ふ言葉を使

つて居る。何事にももう少し早く手を著けて置いた  
ら宜かつたと云ふのである。で六歳から學校に來ま  
す前に社會が其子供を世話したら宜からうと云ふ  
ことに歸着する。それには學齡前の子供を各家庭に  
任せて、其子供の物質的の缺乏の方を無視し、なる  
やうにならして打捨つて置くこと云ふことではいけな  
い、それを社會が少くとも監督し監視して又世話を  
し得るやうな途を付けてやらなければならぬと云ふ  
ことになる。ナーゼリースクールが其の任にあたる  
譯である。食物は勿論無料で與へる、それから休息  
と云ふことは、之とまあ同じやうな意味のことであ  
るが、即ち學齡前の五歳以下の子供に取つては必ず  
適當な睡眠を與へなくてはならぬ。其爲にナーゼリ  
ースクールに於て必ず設けなければならない設備の  
一つとして子供の寢牀を作るのであります。一番良  
いのは折疊の出來る寢椅子であるが、若し已むを得  
なければ何か敷物を板の上に敷いて寢ても宜いと云  
ふやうなことになるつて居る。兎に角晝の食事の後暫  
くの間は必ず寝かすのである。それから運動と云ふ  
のは別に特別な運動法を課する譯ではないが、戸外  
生活と云ふことを非常に重んずる。日光の充分に空

氣のよく流通する庭に於て子供に多くの時間を費さ  
せると云ふことになつて居る。斯う云ふ條件に於て  
充分設備をして居れば詰り文部省の認可を得られる  
譯で、其費用の半分の補償を得る譯であるから斯う  
云ふことも相當に豊かに出來る譯なのである。

それから訓練の方に於ては前にいつたインファン  
トスクールに於ては読み方書き方數へ方と云ふやう  
なものを教へたのであるが、今度出たナーゼリス  
クールの方に於ては絶對的に読み方書き方數へ方を  
教授することを禁じて居る。詰り教授と云ふことを  
一切させないのである。然らば、どう云ふことを主  
にするかと云へば、我國の言葉では甚だ適當でない  
が、生活作法と云つたやうなことを訓練する。日本で  
行儀作法と云ふのは人に對する禮を失しないやうに  
とか、或は紳士として或る形をしようと云ふやうなこ  
とであるが、ナーゼリースクールに於て要求されて  
居る生活作法と云ふのは、即ち生活に關する作法で、  
作法正しく御飯を食べるといふのは、何も食卓禮式  
をどうすると云ふばかりでなく、適當な定つた時間  
に食事をする、能く噛んで食べると云ふやうなこと  
を含むのである。不淨場などをなるべく汚さないや

うにする、或は手が汚れて居れば、綺麗に洗ふとか  
と云ふのが生活作法でさう云ふ意味に於て訓練をさ  
せるのである。

其他に所謂從來の幼稚園でやつて居るやうな、教  
授ではないが一種の智的訓練、即ち幼稚園の言葉で  
云ふ感覺の訓練と云ふやうなことをもする。但し感  
覺の訓練と云つても特に英吉利の文部省が注意して  
居ることは感覺の基本的發達であつて、餘り細い感  
覺の識別作用などは教へてはならないと云ふことにな  
つて居る。

感覺の訓練と云ふことは御承知のやうにモンテッ  
ソリーが特に世間の注意を惹いて居る問題である。  
モンテッソリーの感覺訓練と云ふことは細い感覺の  
差を識別することである。例へばモンテッソリーは  
あの觸はるものに於いても天鷲絨と他の切れとを觸  
り方で區別させるとか、或は色にすると、例の色の  
絲卷きのやうなものがあつて、色の濃淡の區別をす  
る。所がナーゼリースクールに於てはさう云ふ感覺  
識別力の訓練はしてはいけなさと云ふことを云つて  
居る。そんならばどう云ふことをするかと云へば、例  
へば音なら音に就ても、モンテッソリーの所でやつ

て居りますやうな、細く此音と此音と何方が大きい  
か、此音は何の音だ、此音は綱鐵の音だ、此音は錫  
の音だと色々聞分けるのでなく、耳の感覺の訓練と  
云ふことは色々の音に對して能く聞へさへすれば宜  
い、或は其音に對して注意深く音を聞き得る聽覺注  
意の働を發達させて行けば宜いとす。或は視覺の  
方にすれば、色々の細い區別を、赤なら赤を並べて  
どつちが濃いか淡いかと云ふさう云ふ細い問題でな  
くて、色と云ふものに就て注意を持つことが出來れ  
ば宜いとす。何も抽象的に取出して實驗心理學の  
方でやるやうな色彩感覺の區別と云ふやうなことを  
しなくても宜いと云ふ説き方をして居る。之れは非  
常にいゝことだと私は思つて居る。

### ○保育學校の實際

それから此ナーゼリースクールの實際の方面を見  
ると、先づ四十人位を一學校の普通の定員として居  
る。但し、事情によつて、百人までは許される。併  
ながら百人以上を超へることは出來ないことになつ  
て居る。それから其處で働く所の人は日本流に云ひ  
ますならば、主任の人と、其主任を助けて行く所の

主任補助、それから保母、それから甚だ妙な言葉であります。日本流に云へば見習と云つたやうなもの、之だけの人が必要だと云ふことになつて居る。四十人であつても之だけの人が居なければならぬのである。詰り其主任が總ての經營のことから役所の關係或は教育の色々の取締りと云ふやうな事をする。補助はそれを補助する。それから保母は其子供の直接の世話をする。それから見習と云ふのは英吉利流の一般のやり方であるが、十八歳以下の若い人が將來保母となり補助となり主任となる見込を以て此處に行つて働いて居るのである。是は有給の見習であるが、十八歳以下の若い人を使つて居る。斯う云ふ風であるから、ナーゼリースクールと云へば極めて簡單なものやうであるけれども、四十人五十人の子供をたつた一人の人が保育して居ると云ふやうなやり方は許さないのである。私が一番委しく見たナーゼリースクールは先き程申したマーガレット、マクミラン女史のやつて居る倫敦の場末にあるものだがそこではマーガレットマクミラン女史が主任となつて、さうして幾人も保母や見習が居る。其設備は決して立派な建築と云ふ譯ではないが室の一面は吹曝

しで、南を向いた方は九で戸もなく障子もなく柱だけの建て方である。其處を開けて置けば全く戸外生活に繋がつて行くやうな建て方である。それから其建物に比較しましては立派な臺所があつて、其臺所で色々料理を拵つて食べさせる。ナーゼリースクールに臺所と云ふものは非常に必要なものである。子供達の晝寝の設備としては、此處では矢張折疊みの出来る椅子を用ひて居つて、其椅子をいらぬ時は疊んで片付けて居るが、時間になると出して寝ると云ふやうなやり方をして居る。たゞに、此所ばかりでなく、其他多く見たナーゼリースクールの中にはまだ斯う云ふ立派な整つた形を持つて居るものばかりではなかつたが、兎に角食物を與へること、休息を與へること、戸外運動が出来ることと云ふだけの最少限度に合するやうにはなつて居つたのである。

彼の意識しないもの——此れこそ人が喜んで所有し様とする種の性質を含んで居る生命である。

# 萬國幼稚園 協會 案 幼稚園要目 (二)

## 第一章

### 汎論

此の幼稚園要目は、四歳から六歳までの幼児の必要に應じて選擇した、主題及實際から成立つものである。その主題の内容は、兒童の共通の經驗を代表したもので、即ち、

- 1、自然物及自然現象
  - 2、人類及人事(家庭及社會生活)
  - 3、人智の産物(文學、音樂、美術等)
- 等に相偶して、兒童が得た經驗を含んでゐる。實際言語發表、手工、畫、唱歌、劇、競技等は經驗の發表さるゝ通路であつて、又それによつて經驗が、

限定し、組織立てられるものである。

是等の實際の様式は、幼兒の本能の或物を満たし、なほ其の使用法當を得たる時は、兒童の啓發と教育に特種な貢獻をなし得るものである。

此要目の總ては、實際と發表に重きを置く最良の小學校課程に一致する所がある。故に幼稚園と小學校初等教育とに共通な各主題の教授又は教授法は連絡を保ち得る様に整理されなければならない。

扱、幼稚園が良く設置せられた學校制度の一部と成た時は、讀み方と書き方が幼稚園の後半期に於て紹介さるべきか、否か、と云ふ問題が屢々提出される。其の答としては、其の年齢に於ては總ての幼兒が著手し得るに充分であるとは認めない、とせられてある。何處でも五歳から七歳までの子供は、或點では自分の名を書くことゝ、自分の周圍にある印刷や書き物の文字を解釋しようとする事に熱心である。そして幼兒は言語上の實力を、自分で書いたり讀んだりする處までのばさうとして居る。多くの年長者も此の事には非常に興味を持ち又重要視してゐるのである。かような時期が來ると——幼稚園でも又小學校初等科でも——教師又は指導者は、最上の

方法を以て此の問題を教へようと準備しなければならぬ。現今読み方と書き方を教へる方法は、一般幼稚園教師養成の中にも含まれてあるが、もしかやうな養成を受けなかつた教師達は自分で修得すべきである。蓋し總ての教師達はそれが充分適當の時機と思つた時には、子供に對して、言語使用の道程に於ける第二步を進め得る。と同様に小學校初等科教師も、發達の遅い爲に、読み方や書き方の教授を受けなかつた兒童に對して——幼稚園では特種な方で授けられた仕事を——上手に與へる様に準備すべきである。實際此の問題は、兒童の學校生活に於て屢々猶豫せられざるよりも、早すぎる方が多い様である。然し此の兩方面の過失は、幼稚園及び小學校初等科の教師達が、兒童の學校生活の最初の三四年間に教へるべき必要事項に對して充分の準備を持て居れば容易に避けらるべき事である。

今や委員會(萬國幼稚園協會の)は、此處に提出された、幼稚園要目に基いて小學校の課程を作らんとして居る。此の委員會は、読み方と、書き方の問題に對して最も正統な方法を取ると信するものである、なほ又是等の問題が、幼稚園要目、小學校課程兩

者の他の状態に非常に密接な關係のある事を示す、故に此處には此問題に就いて之れ以上に論ずべき必要はない。次章に於て、幼稚園要目を、目的、主題、方法、實習等に分けて論ずる事とする。

## 第二章

### 主材。生活行事。自然科學。

幼兒は、經驗と云ふ事の中に、社會接觸に據る經驗と、單なる自己經驗との區別をしない。又幼兒は自然物、自然現象、人間の活動に多大な興味を持つものである。故に日程を組立てる際にも、此の二つの經驗の間には確然たる區別を作らぬ事を希望する。

## 目的

重要な環境の事物に對しての興味を増進すること。

經驗を正確にし、擴張し、了解し且つ組織立てること。

理想的な習慣と態度を養ふこと。

## 主材

若し是等の目的が是認さるゝとしたら、日程を作るに際しては絶えず基礎的の考查を念頭に置かねばならぬ。

(一)、選定された主材は、兒童が興味を有するものか又は重要だと感ずるものでなければならぬ、故に主として、主材は、兒童の自由な活動や計畫的な遊びの中に喜んで取り入れられ又新しい經驗への要求を満たす様なものでなければならぬ。

兒童は彼等自身の自然性として、年長兒や成人の日常の仕事に依て暗示された空想の遊びにふける。

家事遊ホムトや人形遊、又家を建てたり旅行をしたり、學校へ行たり、スケートをなしたりする。そして是等の遊びを容易ならしむる材料、事實、考案を大層熱心に取り入れる、同様に自然物や自然力は兒童の興味を最も長くとらへる。

(二)、選擇される家庭と社會生活は、兒童の興味を中心としたばかりではいけない、それ等の社會的地位と意義とを参照しなければならぬ、と云ふのは

是等の興味は次へ／＼と發展すべきものであつて、食物、衣服、住宅、休息、美、娛樂等の一般人類の必要に關係深い活動と目的とを其の中に含有して居るからである。

(三)、兒童の日々の經驗は或興味並に活動に對する刺戟と情緒とを包有して居る。それらは特に選擇された主題ではなくとも、それにかゝはらず發表の機を與ふべきである。長靴や、レインコート、雨傘等の興味ある附屬物を持た「雨の日」は畫いたり、歌つたり又劇的な遊びに依て其興味を發表させる方が計畫立てゝ居つた立案や仕事の何物よりも「雨の日」その日としての意味が深いのである。多くの價値ある自然經驗は日毎の豫定に對し偶然に勃發して來るものである。

兒童は、動物の動作、花や葉の色彩、貝類の珍らしい形をよろこぶ。又彼等は蛾が繭から美しい絲を靜かにのばすのを不思議さうに目守て居る。そして月や星等の天體の出現にひきつけられる。かうした興味は日を重ぬるに従て兒童自らに日一日と明白になつて來るから、そこで適當な方法によつて是等の興味に就いての發表を獎勵する事が必要になつて來

る。

(四)、最後に兒童の完全な發達に肝要な、兒童の發動と遊び——それは上に紹介した主材に何等暗示せられぬ全然別なもの——がある。

兒童は彼等自身の想像や理想を、具體的な材料で試めず機會を必要とする。實際子供は、選擇せられた主材とは何の係りもない——然し子供の活動と、感激と興味とは親しい——多くの歌やお話を必要とする。かようにして子供は自發活動に依る自由行動——あちこち飛びまわつたり、立場を轉換したりする事等——を必要とする。

本章に是等の活動の種々な型の例を舉げる。

## 方法

家庭社會生活及び、自然から選擇された主材を用ふる方法は、一般に次の様である。

一、實物、代表玩具、繪畫、會話、又は聯想に依て子供に親しい日常の經驗を呼び起すこと。

二、遠足又は教室其他に於ての實物教授に依て、經驗を擴張すること了解すること。

三、遊び或は二三の發表の方法に依て、經驗を組

織立てる事を了解する事。

第三は常に兒童が興味を持って解決する問題を含んで居る。例へば土のお菓子屋さんごつこに就て考へて見れば、先づ起る問題は、如何してお菓子を焼くかと云ふ事で、其處にはじめて鍋の必要が認められるのである。即ち兒童にとつての第一の問題は、

「如何にして此の紙片を私のお菓子をのせる器にしようか」と云ふ事であり、第二の問題は、

「如何して私はこのお菓子皿をあぶる窯を造らうか」と云ふ事である。

## 主材梗概

此の主材梗概は、前述の標準に對しての説明である。即ち公立學校に於て價值ありと認められた主材、米國生れで教育のある米國市民の兩親を有て良家庭から來る兒童。

かような或殊特な立場にある兒童の經驗から直接引き出したものが此處に謂はるゝ主材である。

然し此の梗概は數多の環境に適合し得るものと信ぜられ且つ細い事件は異つた社會に於て、必要に応じて變化出來得るものである。



九月、十月、十一月

一、家庭生活。家族。家庭内の世話。

家族の食事の準備。

二、食物の起原。庭。菜園。市場。行商人。牛乳屋。

食物の供給に關する職業。

食料品——果物。野菜。穀物。卵。ミルク。

パン。バター。——に對する注意。

食物を造る簡單な方法。

三、季節に應じた活動及興味。

冬の準備としての保藏法。罐詰法。

花、葉、果實、種子、クルミ類をあつめる事。

球莖を植ゑること。

毛蟲をあつめる事。感謝祭の準備。感謝祭。

十二月

クリスマスの準備。サンタクロース。玩具店。

贈物造り。クリスマスストリー。クリスマス祭。

一月。二月。三月

一、社會生活。諸種の家族の住宅。街路。散歩。

諸種の家族に必要な公共建築物。大小の商店。

郵便局。消防派出所。學校。寺院。

二、季節の興味。戶外遊。——雪遊、冰遊。

家庭其他建築内の暖法と點燈。聖バレンタイン祭。

ワシントン誕生記念日。秋植ゑた球莖の芽生える

世話。家畜——小鳥、小魚——の世話。

四月。五月。六月。

一、衣服に關した職業。衣服を造ること。

店で布を買ふこと。

二、季節に應じた活動と興味。公園、遊園の生活。

自然界の春の訪れを迎ふる遠足。木々の芽ぐみ。

渡り鳥の歸來。野の花。

戶外遊——石彈。コマ。庭園造り。鳩や鶏の雛の

かへること。イースターの祭。メイデイの祭。

埋火や壁には客の影ぼうし

芭蕉

## リヒターの子供繪に就て

倉橋 生

本號から表紙繪にリヒターの子供繪を、毎號一つ宛載せることにしました。それに就てひと言説明をして置きませう。

リヒター (Ludwig Richter. 1804-1884) は獨逸の畫家です。伊太利や佛蘭西などの大家の様に、我國に一般に聞えて居ませんけれども、獨逸では國民的美術家として大に尊敬せられて居ます。其の傑作はドレスデンの美術館や、ライプチヒの美術館に陳列せられて居り、獨逸人の誇りとして居るところです。其の美術史上の評論は茲では略するとして吾々にとつて興味深いのは、此の美術家が子どもの繪を澤山描いて居て呉れることです。

リヒターは敬虔なカソリック教の信仰をもつた人でした。それに、平生靜かな田園の生活に落ち著いた藝術心を養ふて居た人でした。それで、其の作品は、いづれも平和と溫良と靜穩のこゝろもちを特色として居ます。好んで子どもを描いたのも、子どもの生活に、平和と溫良と靜穩とを見出した爲です。

リヒターの作には、其の主趣の如何に拘はらず、殆んどきまりの様に、靜かな森と、可憐な草花と、ゆるやかに歩む羊と、たのしく歌ふ小鳥と、平和な老人と、嬉々たる子どもとが畫中に配せられて居ます。なかには、その中の子どもが主になつて居るものも尠くありません。その子ども達は、みんな、無邪氣と單純と、幸福と、平和との子どもばかりです。

リヒターはまた、子どものための繪本を描き、子どものためのお話の本の插繪を澤山描いて居ます。その中に、その素朴な版畫の中に、大作に劣らない味の多い子供繪があるのです。本號から表紙繪に載せるものは、そういうものゝ中から選んだものです。但し、これ等が一番優れたものといふ嚴密な選擇をしたのではなく、版刻に便利なものを選んだ譯ですが、それでも、リヒターの味は充分味はへると思ひます。

理屈や、學問的な言ひ方では盡し得ない子どもの生活の或るものは、こうした大美術家の天才的な見方とあらはし方を俟つほかはありません。

## 會 告

○會費御拂ひ込みの節は御名前前は初め御入會の時の御名前と同じにして頂きたく存じます。例へば初め幼稚園にて御入會になり、後個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき様に願上ます。整理上甚だ煩雜致しますから。

○會費未納は會計整理の上に甚だ困難致しますから確實に御納付下さいまし。向後萬一御不納久しきに亙ります場合は乍遺憾雜誌發送を停止致します。

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願ひます。

○萬一本誌不着等のことがございましたら直に御一報煩したう存じます。

### 本誌定價

一冊(郵稅共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢  
十二冊 前金 參 圓 (郵券代用壹割増)

### 購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正十二年一月十二日印刷  
大正十二年一月十五日發行

東京市外中野町千光前三〇三番地  
編輯兼發行者 倉 橋 惣 三

東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印刷者 柴 山 則 常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
印刷所 會計 杏 林 舍

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

# 謹賀新年

東京府女子師範學校

附屬幼稚園御考案

## ピヨントロカルタ

定價金壹圓廿錢 送料金拾貳錢

が立派に出来ました

◆小冊子に説明と遊戯法が載せてあります

◆唱歌の樂譜も付いてゐます

◆形が大きくて紙が厚く繪入色刷です

小冊子の序文中に**田中同校主事**曰く

◆……句といひ繪といひ頗るよく出来たので

◆……思はず感嘆の聲を放つた譯である

著者たる**同校保母**の緒言中の一句に

◆……カルタが教育上少なからざる効果あるに係らず比較的重要視されなかつたのは其の内容及び表現法が幼兒の實生活に觸れない點があつたからでこのカルタは此の點に最も注意した……

### 發行所

東京 九段 フレーベル館



明治三十四年一月二十八日第三種郵便物認可(毎月一回十五日發行)

幼兒教育 第二十三卷 第一號 大正十二年一月十五日發行

印刷所

合資會社 杏林舎